

# 令和5年度決算報告 令和5年4月1日～令和6年3月31日 (単位:円)

資金収支計算書	
事業活動による収支	収入 219,885,214 支出 212,610,967
事業活動資金収支差額	7,274,247
施設整備等による収支	収入 137,473 支出 5,701,075
施設整備等資金収支差額	△5,563,602
その他の活動による収支	収入 0 支出 1,596,089
その他の活動資金収支差額	△1,596,089
当期資金収支差額合計	114,556
前期末支払資金残高	191,036,416
当期末支払資金残高	191,150,972

事業活動計算書	
サービス活動増減の部	収益 218,287,665 費用 228,404,983
サービス活動増減差額	△10,117,318
サービス活動外増減の部	収益 1,597,549 費用 851,802
サービス活動外増減差額	745,747
経常増減差額	△9,371,571
特別増減の部	収益 0 費用 1,312
特別増減差額	△1,312
当期活動増減差額	△9,372,883
次期繰越活動増減差額	345,084,457

貸借対照表	
資産の部	
流動資産	200,824,624
固定資産	305,360,621
基本財産	171,563,358
その他の固定資産	133,797,263
資産の部合計	506,185,245
負債の部	
流動負債	15,253,280
固定負債	15,184,315
負債の部合計	30,437,595
純資産の部	
基本金	41,112,994
国庫補助金等特別積立金	89,550,199
次期繰越活動増減差額	345,084,457
純資産の部合計	475,747,650
負債及び純資産の部合計	506,185,245

## 理事会・評議員会報告

令和6年5月15日 理事会  
 令和6年6月7日 評議員会を開催いたしました。  
 監事就任 大月哲也 様  
 これからも施設の発展にお力添えのほど、よろしくお願いいたします。

## 寄付・物品寄付のお礼 (順不同) 令和5年12月～令和6年5月

- 西村 茂 様 ●益本隆雄 様 ●小橋弘正 様 ●原 景子 様
- 松本笑子 様 ●松本章弘 様 ●佐伯観光りんご園 様
- ぽれぽれ家族会 様 お心遣い誠にありがとうございました



## 第三者委員会

令和6年2月に第三者委員会を開催しました。サービスの質の向上と支援員という専門職について、第三者委員の景山氏と岡崎氏よりご意見やアドバイスを頂きました。支援を振り返って見つめ直し、今後の支援に活かしていきたいと思っております。(マネージャー 永田千香子)

令和5年度 苦情受付・解決状況報告							
事業所	支援関係	個人の嗜好について	財産関係	その他	受付合計	解決	保留
和気本場	0	0	0	0	0	0	0
表町	0	0	0	0	0	0	0

虐待通報件数 令和5年度2件、令和6年度6月現在1件

## 今後の行事予定

(令和6年7月～令和7年3月)

- 7月24日 お涼み会
- 7月29、30日 健康診断
- 8月9日 サマー・バケーション
- 9月 スポーツレクリエーション
- 9月16日 家族会役員会
- 10月11日 ハロウィンパーティー
- 11月13日 理事会
- 11月15日 たこ焼きと音楽の祭典
- 12月22日 クリスマスお楽しみ会
- 12月31日から1月3日 ウィンター・バケーション
- 1月 健康診断
- 2月19日 第三者委員会
- 3月4日 春の寿司
- 3月12日 理事会
- 3月20日 家族会役員会

変更や中止になることも有り得ますのでご了承ください。

## 編集後記

空の青がひととき眩しい季節となりました。玄関前の花壇の花もパンジーからマリーゴールドに変わり、夏の到来を感じる今日この頃です。本誌を通じて、ぽれぽれの活動が少しでも伝われば幸いです。作成にあたり、ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。(広報委員 吉崎郁子)

## スポーツレクリエーション

身体を動かし、健康維持に努めることを目的にグラウンドでスポーツレクリエーションを行いました。たくさんの利用者が参加してくれました。フライングディスク、キャッチボール、ランニング、玉入れ、その他、縄跳び、フラフープ等、各々が何かに取り組むことができました。全体で集合して遊ぶことは毎日ではできませんが、今後も企画して実施していきたいと思っております。

(生活支援員 角原光貴)



## 1日外出 (神戸どうぶつ王国)

5月21日に神戸どうぶつ王国へ行ってきました。事故渋滞で到着に3時間程かかってしまいました。車に乗っているだけで疲れた様子もありましたが、園内に入るととても楽しそうに散策され安堵しました。園内では一部の動物と直接触れ合えたり、間近で観察したりすることが出来て、とても楽しめる展示方法となっていました。次回も利用者様が楽しめ、思い出に残る一日外出を企画したいと思います。(生活支援員 岡本 航)



# ぽれぽれの友

47

2024.07.08 発行

## 「継続・実行」

管理者 山本雅司

昨年、新型コロナウイルスの取り扱いが5類に移行し、当施設でも感染対策に留意しながら施設内外での活動領域を少しずつ広げてきています。また、スタッフが元気を出し、皆様に「笑顔・ありがとう・感謝を」届けていくことが、何よりの予防であると思います。

今年度は、ご利用者、ご家族との交流の場を増やし、コロナ禍前のような活気を取り戻したいと思います。

令和6年度は、3年に一度の報酬改定の年となりました。制度改正、給付費の見直しが行われ、その中でも「地域移行の意向確認」が大きな柱となり、障害者が希望する地域生活へ向けた支援の充実が図られることになりました。これにより障害者支援施設において、ご利用者に対して、地域移行や施設外の日中活動のサービスの意向確認をすることが義務化となります。ここ数年、コロナ禍で日中活動にも制限がありましたが、これからは少しずつ地域の社会資源を活用しつつ、様々な選択肢の中から、自己選択・自己決定ができるように生活環境の整備

を行っていききたいと思います。

施設も22年目に入りました。開所時には、18歳から20歳過ぎの利用者の方が多く入所され、活気に満ちていた頃を懐かしく思い出されます。その利用者も40歳又はそれ以上の利用者も増えてきています。これからは利用者の高齢化・重度化に対応して、日課の見直し、基本介護部分への手厚い体制作りが急務となってきています。

今年に入り、職員による3件の虐待事案が発生し、1件は報道にも取り上げられました。利用者の人権を踏みにじる行為が起こったことに対し、保護者の皆様及び関係機関の方々には、ご迷惑そしてお心配をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。施設としてこの事態を大変に重く受け止めており、二度とこのような事を繰り返してはならないと、全職員が気持ちを新たにするとともに、これから問題点を一つずつ見つめ直していき、再発防止に取り組んでまいります。

## 10年目を迎えて

看護師 久森正子

平成27年、第三者委員の景山様とのふとしたご縁から、ぼれぼれの前梶谷理事長にご紹介をいただき、是非ぼれぼれにと懇願され、ここぼれぼれにお世話になることになりました。これも何かのご縁でしょうか。

前梶谷理事長に最初にお会いした時、「『ポレポレ』とは、スワヒリ語で『ゆっくり、ゆっくり』という意味なんです。」と教えていただきました。そして、「僕はこのことばが好きなんです。」ともおっしゃっていました。

看護師として、施設での勤務経験のない私が曲がりなりにも、9年という年月を勤められたのは、利用者様の明るい笑顔と職員の優しさに支えられているからこそと言っても、決して過言ではありません。

さて、私が9年の年を重ねたということは、長年住まわれている利用者様にも同じことが言える訳です。

ぼれぼれでも、高齢化の時代が訪れようとしています。昨年7月には、新型コロナウイルス感染症が発生、年末からはインフルエンザの感染者が出てしまいました。日々の

手洗い、アルコール消毒、換気、施設内の消毒等々、感染予防に努力していても、ウイルスはどこから侵入してくるか分かりません。高齢化に伴い免疫力も低下し、人への感染を防ぐために隔離をすると、外に出られず、ウォーキングもままならなくなり、必然的に筋力も衰えてきます。その結果、転倒も増え、骨折等の危険性も高まり、それに伴う通院も増えてきます。どのような対策を施し、支援していくかと考えると、ぼれぼれの今後の課題は山積みです。

私一人の力では到底どうなるものではありませんが、利用者様お一人おひとりの現状を把握し、少しでも楽しく過ごしていただけるよう、常に相談しながら支援していく必要があります。

私自身いつまで仕事ができるか不安ではありますが、看護師として微力ながら、そのためのお手伝いできればと考えています。

## 表 町 分 場

余暇活動として、月に1回外出をしています。令和5年の12月には倉敷の科学センター（見て、触ることができる、体験型の博物館です）、令和6年1月は鏡野町の男女山公園（とても長いローラーすべり台が楽しいです。ただおしりが痛くなります）、2月は児島にある王子ヶ岳（瀬戸内海の眺めが最高）、3月は梅の里公園（ちょうど梅が満開でした）、4月は津山の衆楽園（こちらでは桜がきれいでした）に行きました。また、コロナウイルスが5類になったことで、中止していた美術館見学を再開しました。その中で特に利用者人気だったのは、岡山県立美術館での「鬼滅の刃展」でした。2回行った利用者もおられました。

（生活支援員 永田 晃）



## 音楽クラブ

音楽クラブではリズムに合わせて楽器を演奏したり、歌ったりしながら楽しんでもらうクラブです。特にカラオケは大人気で、「早くカラオケがしたい」と自ら職員に伝えてくる利用者様もいます。様々なジャンルの曲を歌われますが、特に『パプリカ』が人気で、クラブの最後には『パプリカ』を参加した利用者様で合唱しています。また、マラカス・タンバリン・ボックスドラムの音を自分の好きなように鳴らし、演奏することが出来ました。このように音楽を通じて、皆と共感し、心も体もリフレッシュでき、日々の生活の中で少しでも楽しみが持てるようなクラブ活動になれば良いと思います。

（生活支援員 浜野雄大）



## 保健・感染症対策委員会

コロナが第5類になって1年程経ちます。制限も解除され以前のような生活に戻りつつあります。今年度からかわいい歯科による歯科検診が再開されました。入所者48名1日3回、職員による仕上げ磨きを行っています。一人ひとりに十分な時間が取れているとはいえません。先生のご指導をいただき、日々の口腔ケアの改善に繋がっていききたいと思います。

（委員長 岡本 航）



## 栄養通信



給食室では、家族会にご協力いただき、温冷配膳車を導入いたしました。

入所者48名のうち、年齢に関係なく咀嚼・嚥下機能が未発達の方、高齢化や投薬の影響などにより口腔機能の低下が見られる方など、実態に

応じて細やかな個別対応を必要とする形態食や病態食が約半数を占めている現状があります。これらは配膳に間違いがないように確認しながら作業するため、事前にトレイにすべて配膳する「組膳」を行っています。主食の量だけを個別対応している普通食の場合は、入所者自身がトレイを持ってカウンターに並び、ご飯やおかずを受け取って席に着きます。提供時間までは、冷たいものは冷蔵庫に冷やし、温かいものは調理機器を使って保温に努めています。しかし、組膳では、温かいものも冷たいものも一緒に並べてしまうので時間の経過に伴いそれぞれの温度を保つことが難しいという側面がありました。温冷配膳車は、組膳をしたトレイごと温かいものは温かく、冷たいものは冷たく保管することができ、衛生面の向上はもちろんのこと、入所者様により美味しく食事をしていただけるようになると期待しています。

（管理栄養士 吉崎郁子）

## 退所された利用者様

退所 重則佳貴 様（3月1日）

## お悔やみ

時本博行 様（6月17日永眠）  
謹んでお悔やみ申し上げます

## 職員の動き



**入職** 林 光希（5月1日付採用）  
前職は生活支援員としてグループホームで働いておりました。至らないところもありますが、皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

**退職** 秋元まゆみ（2月29日付）  
お世話になりました。

